

魚津市自治振興会連合会第3回定例会 会議録

日 時 平成30年9月26日(水)午後6時～
場 所 魚津市役所第1会議室
出席者 自治振興会連合会 平内幸典会長、米澤賢太郎副会長、大崎勇副会長、
馬場均監事、高瀬忠次監事、谷林正昭、松原勇、
河口利春、伊藤甚宰、水口富代明、関口斎、佐々木和允
事務局 山本課長、江幡主任、谷田主任、清水

1. 開会

平内会長あいさつ

2. 各課からの依頼事項

1) 通学路等への防犯カメラ設置にかかる協力依頼について・・・資料1

環境安全課 田中課長より説明。

- ・明文堂前の地下道に設置する予定は。
⇒地域から要望は聞いている。文書にて返答させていただきます。
- ・設置の可能性は。
⇒施設が県道の地下道なので、県との協議が必要となります。
- ・あと5カ所に設置とのことだが、今年中か。
⇒今年度中に5カ所と考えています。
- ・出地区の国道8号下の地下道は、候補に挙がっていますか。
⇒挙がっていると思いますが、今後優先度を確認しながら決めていきたい。
- ・今年度、よつば校下の設置はないということか。
⇒はい。この設置には、国交省と地元の同意、そして工事の費用の3つの条件が整わないと取り掛かれません。
- ・今回は、地元の同意が得られなかったということか。
⇒はい。設置は来年度以降になる予定です。
- ・設置については、各地域に打診があったということか。
⇒特にしていません。通学路点検とか以前から人目に付きにくい箇所を中心にピックアップしています。
- ・魚津市小中学校通学安全プランや登下校防犯プランが策定されたなど、今回初めて知った。地域に情報提供してほしい。あと設置に関するガイドラインを現在作成中とのことだが、それは市役所の中での検討で作成するのか。
⇒市の中で叩き台を作成し、その後パブリックコメントをとるといった手続きは行う予定です。また、情報提供については善処していきたいと思います。
- ・防犯の大会の動員について地域振興会に案内がありました。しかし、振興会に案内されても、案内がきていない人は会長と事務局長ぐらいしかいない。動員の仕方も考えてい

ただきたい。

2) 平成 31 年度魚津市空家実態調査への協力依頼について・・・資料 2

都市計画課 加藤主査より説明。

- ・空家かどうかは市の固定資産税の関係を調べればわかるのではないかと。
⇒空家であっても固定資産税を納付していただいているところもあるため、市では把握できません。
- ・過去に自治会長に依頼して、地図に空家を落とし込んでいると思う。その地図と時間をものであれば落とし込むことができると思う。
⇒前回の調査結果について各地域にお渡しした地図がありますので、その地図を基に新たに調査をしていただいて、こちらに返していただく方法も可能かと思えます。ことらとしては、皆さんにお願いする作業について、報酬などかからない程度のもので考えています。
- ・調査結果は最終的に地域に還元すると書いてあるので、その結果と頂くことで報酬はもらえない。地域としても空家の状態を把握したいと思っている。
- ・空家の考え方はどうすればいいのか。
⇒空家の定義をある程度示したいと思えます。あと細かいところは直接職員が伺いましてヒアリングをしたいと思っています。
- ・今回の依頼事項は、予算の関係で業者に委託するか、地域でお願いできるかを確認したいということだと思います。この件については地域で調査に協力させていただきますので、業者に委託することはないと思えます。
⇒ご協力をいただけるということでもよろしいでしょうか。⇒異議なし
- ・一度は地域で説明してほしい。
⇒来年 4 月以降に行いたいと思っています。

3. 会議録の承認について

平成 30 年度第 1 回定例会、第 2 回定例会の会議録について承認を得た。

4・協議事項

1) 今後の地域振興について・・・資料 3

事務局 資料 1 を基に説明。

- ・「公民館の指定管理について」の項目に、「館長との協議」を追加してもらいたい。このような場は必要と考えています。
- ・目標設定して進めていくことが必要と思う。また以前、市としてどう進めていくことを考えているのかを決めてかからないといけないと話した。
⇒その時もお話ししたと思いますが、市がどうするかではなく、皆さんと協議を重ねながら決めていきたいと思っています。
- ・目標設定しないと決まるものも決まらないと思う。

- ・館長との協議をクリアしないと、議会との話し合いもできない。
- ・館長と協議するときには、振興会はどうかを決めていかないといけない。
- ・具体的に項目をひとつずつあげながら意見をまとめていかないといけないと思う。市としてもひとつの形を作らないといけないと思う。
- ・うちの地域は、公民館の事業は振興会の事業として行っていますので、公民館を廃止して市民センター化しても問題ないと思っています。各地域振興会で事情がありすべての地域で一斉にすることはできないと思いますので、許されるなら片貝地区を実験的に、現在片貝こられプロジェクトなど公民館では対応できないことも出てきていますので、研究してできないかと考えています。
- ・一度公民館大会の発表内容を見ていただきたい。その内容は地域振興活動ということがわかると思います。
- ・目標年度を決めて協議を進めていく必要があると思います。
⇒皆さんの話にもありましたように、各地域地域で事情が違うこともお聞きしました。例えば指定管理をいつまでにするという目標をたてるのではなく、指定管理をすることが可能なのか、それがベストなのかどうかをいついつまでにしましょう、そして次の課題をいついつまでしましょうという具合に協議していきましょう。また、協議するメンバーもこのままでいいのかどうかなども含めて、役員会、定例会等でひとつひとつ決めていくことでいいでしょうか。⇒異議なし
- ・役員会でもう一度協議して、公民館長と協議が必要と思います。
- ・役員会を年度内に一度開催します。そこでたたき台を作りましょう。

2) 全日本大学女子野球について

- ・来場者が少なかったように感じた。決勝戦ぐらいはもっと多くの観客で迎えたい。来年度どうしていくかを皆さんで検討していきたい。
⇒議会の質問でも、地域振興会の皆さんの多くが参加していただいたとの話が出ていました。今後は地域振興会だけでなくスポーツ少年団など市民を巻き込んで大会を盛り上げていかないといけないと生涯学習・スポーツ課で答弁しております。
- ・来年の課題として考えていきましょう。

3) 平成 31 年度地域づくり人材育成講座及び公募型提案事業について・・・資料 4

事務局 資料 4 を基に説明。

- ・地域づくり人材育成講座の 5 万円についてあえて別枠にしなくても、各地域振興会で取組めばいいと思う。この JIAM の研修の募集定員は 50 名となっているが、市から 13 名すべてが参加することは無理だと思う。
⇒地域づくり人材育成講座については、事務局で取りまとめてやっていけばいいと思いついて各地域 5 万円を確保していきたいと考えています。また、公募型提案事業については、近年提案の内容等をみて予算が削られてきているところでもあります。市民の能動的な地域活性化の取組は残していかなければいけないというところで、苦肉の策では

あったんですが、交付金の中から拠出していただきながら残していければと思います提案しました。

- ・人材育成が必要と思うなら、最初から予算を削減して充てるのではなく、その予算を獲るという気構えを持って要求して欲しい。
⇒市の内部の話ですが、一度予算を削られたものは以後つきにくいということがあります。
- ・最初から交付金を削るのはよくない。例えば人材育成なら、各地域が必要と思うなら出していけばいいと思う。
- ・地域の皆さんは前向きに頑張っている。このような状況で交付金を削るのはよくないと考えています。一方では用途の自由な交付金の拡充も本音としてあります。交付金を前向きな地域づくりに役立ててほしいという思いを育てるような政策、議会との話し合い、当局との折衝などの役割を、地域協働課に担っていただきたい。
⇒提案については廃案とする。

4) 平成 31 年度研修視察会について

事務局 資料 5 を基に説明。山形県川西町と福井県越前市の 2 案を提示した。

- ・各自で検討してもらい、後日決める。

5) 地域計画について

事務局 資料を基に説明。

- ・以前、市の総合計画を作る時に地域でもワークショップを開いてつくった。しかし、地域の住民はあまり関心がない。この計画の必要性から説いていかなければならない。
⇒このような計画がないと、市が交付金を出すにしても監査等に説明ができない。また地域においても、住民に対して説明ができないと思います。
- ・生きたまちづくりを進めるためには必要な計画ということですね。皆さん、努力してつくっていきましょう。
- ・第 10 次基本計画策定の時は、つくらなければならないとってつくった感があった。でも、計画にははやっていかなくてはならないことが書いてあるんです。これはぜひやっていかなくてはならないと思います。
- ・市の総合計画にあわせていくのなら、その調整もお願いしたい。
- ・資料の中に予算とありますが、ここには交付金が入るのですか。
⇒そうなると思いますが、例えば後程お話ししますが、市の予算を超える事業などが出てくるとと思いますが、その時は国等の補助金を利用する等が考えられます。どこから予算を持ってくるか等職員も入りながら探っていくこととなります。
⇒10 年以上前になりますが、13 地域で地域振興計画をつくって、将来的に市の総合計画に載せていければというところで始まっていたと思います。また、地域特性事業の中にも地域振興計画をつくる部分のお金があったかと思いますが、なかなか活用されてなかった。現在では、その地域特性事業のお金そのまま交付金の中には入っています。計

画の策定には、二度手間三度手間を省くのでしたら、市の総合計画に載せてある地域の計画を参考にしながら、つくっていただけるといいと思います。目に見える計画があれば、地域の住民の方も意識を統一しやすいのかなと思います。計画を作成し、交付金の使い道を明確にしながら、地域の皆さん、ひいては地域全体が目標に向かっていければと思いますのでご協力のほどお願いいたします。また、多くの住民が携わった計画にしてほしいと思います。説明にはいつでも行きますのでよろしくお願いいたします。

6) 魚津市まちづくりフォーラムについて

事務局 第1回企画会議について説明。

- ・進め方について、企画会議に出席している方では何も決めれないということから、企画会議では連合会で決めたことを企画会議に持ってくるというような話があった。
⇒企画会議の案内には、各地域振興会から代表者を出してほしいということをお願いしていた。
- ・来年度からは、連合会においてフォーラムの開催や大まかな枠を決め、細かいところを企画会議で決めていく方向で進めていきましょう。

5. その他

助成金一覧について

⇒現在助成金の一覧を作成している。

- ・市の財政状況を考えると、国等からの助成金をどんどん活用していかなければならないと思います。このような情報はどんどん地域に流してほしい。

コミュニティ助成事業について

⇒以前メールにてお知らせしているコミュニティ事業について、締切が9月いっぱいとなっています。今一度確認していただき申請があれば事務局まで連絡ください。

次回定例会について

平成30年12月7日（金）午後6時～

定例会の傍聴について

- ・次期振興会長を定例会に同席させ、慣れてもらいたいと考えている。同席は可能ですか。
- ・後ろの席で、傍聴ということならいいと思いますが、どうでしょうか。⇒異議なし

4. 閉会